

平成24年度 重点的な取り組み

学識者、市民・NPO、産業界等との連携の強化…全体G

表彰制度の継続・発展

- ・市民・NPO、企業等の取り組みの奨励による活性化[全体G]



第3回『魚庭の海』賞 意見交換会

市民・NPOと企業との連携

- ・市民・NPOと企業との交流(陸と海のつながり等)の場の提供[全体G]



市民・NPOとの交流の場の例
(ほっといたらあかんやん！大阪湾フォーラム)

行動計画の方向性検討…全体G

取り組み評価と行動計画の方向性検討

- ・学識者を交えた検討会等による取り組み評価及び方向性の検討[全体G]

大阪湾再生や大阪湾再生行動計画に関する広報の強化

広報の強化

…全体G

- ・各構成機関との連携を図りながら企画展の継続・強化 [全体G]
- ・NPO、大学、行政が連携した“大阪湾Years2012-2013”の実施 [全体G・関係各機関]
展覧会、シンポジウム、イベント、学識者の基調講演 等へ



企画展の継続・強化

積極的な市民参画の取り組み拡大 …各G

市民・NPO等との連携の強化

- ・市民参画の取り組み、NPO等との協働の取り組み、市民主導による取り組みの拡大 [関係各機関]

環境学習等の取り組みの継続・発展

- ・大阪湾・集水域での環境学習の継続・発展、シンポジウム等での発表機会の拡大 [関係各機関]



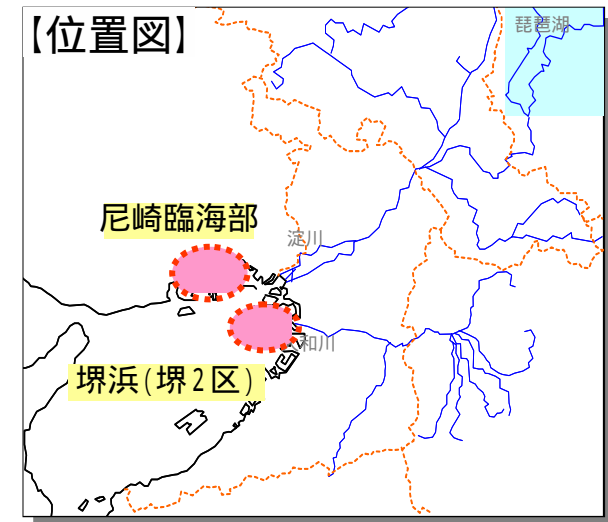
環境学習の継続・発展

アピールポイントにおける集中的・先駆的な取り組みの継続

…各G

尼崎臨海部や堺浜周辺等での 海陸連携の継続実施

- ・尼崎臨海部における緑化、親水性の向上[兵庫県]など
- ・堺浜周辺における再生水送水事業[堺市]、人工干潟整備[大阪府]、生物共生型護岸の順応的管理[近畿地方整備局]など



海岸環境整備事業(尼崎臨海部)



人工干潟(堺2区)



生物共生型護岸(堺2区)

陸域負荷削減施策の推進 … 陸域G

高度処理化の推進

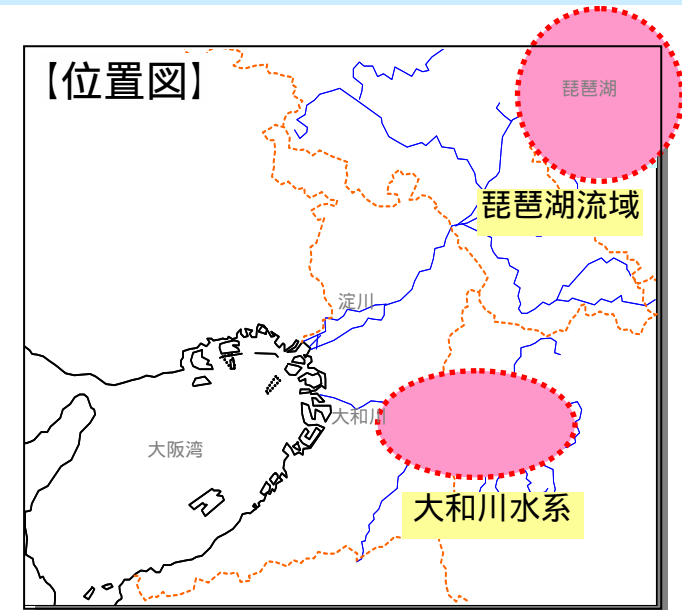
- ・高度処理施設の増設及び導入の促進 [各府県市]

河川浄化事業の推進等

- ・琵琶湖流域での河川浄化事業の推進 [滋賀県]
- ・大和川水系の河川浄化施設の機能性向上、効率的・効果的な運用に向けての検討 [近畿地方整備局、奈良県]

陸域負荷削減効果の評価とアピール

- ・下水道整備、下水再生水の有効活用、森林整備等による環境改善効果の検討及びPRの実施 [陸域G]



：河川浄化事業等



出典)大阪府HP

高度処理化の推進
(今池水みらいセンター：H23一部供用開始)



河川浄化施設の推進等
(西の湖：浄化浚渫)



環境改善効果の検討及びPRの実施

窪地修復へ向けた検討

- ・浚渫土砂の有効活用による大阪湾内の窪地修復へ向けた検討の推進[近畿地方整備局]

藻場の整備

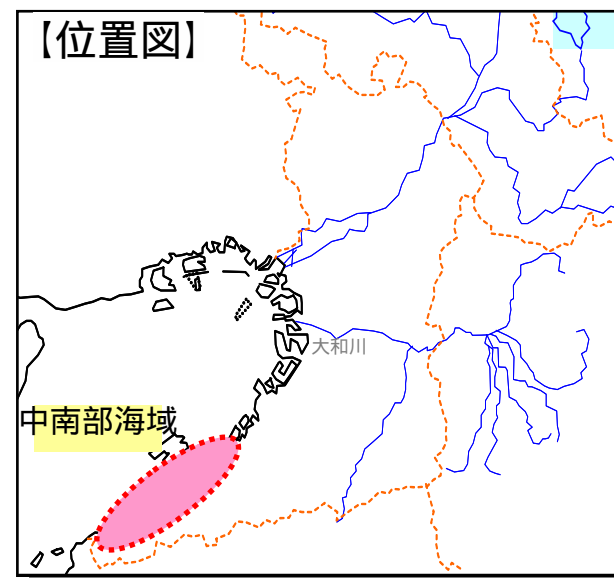
- ・中南部海域における藻場造成[大阪府]

親水拠点のさらなる拡大

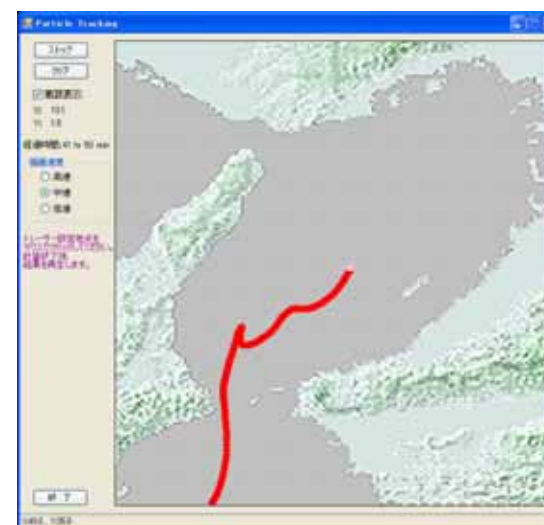
- ・親水護岸、緑地の整備継続[近畿地方整備局、大阪府、兵庫県、神戸市]

海洋短波レーダによる観測

- ・「流動・水質シミュレーションモデル」の実用化に向けての検討[神戸港湾空港技術調査事務所]



【粒子追跡予測表示例】



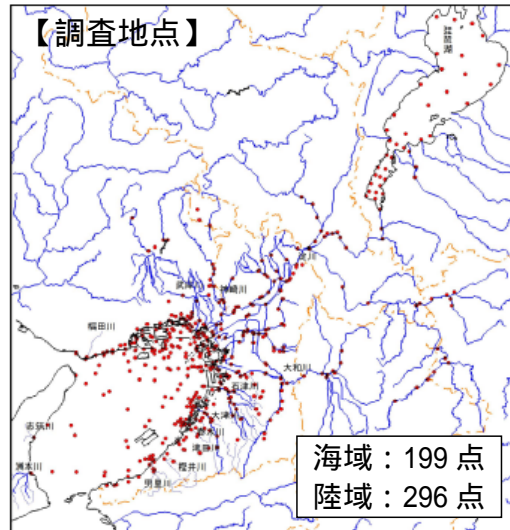
藻場の整備（中南部海域）

「流動・水質シミュレーションモデル」の実用化による解析例

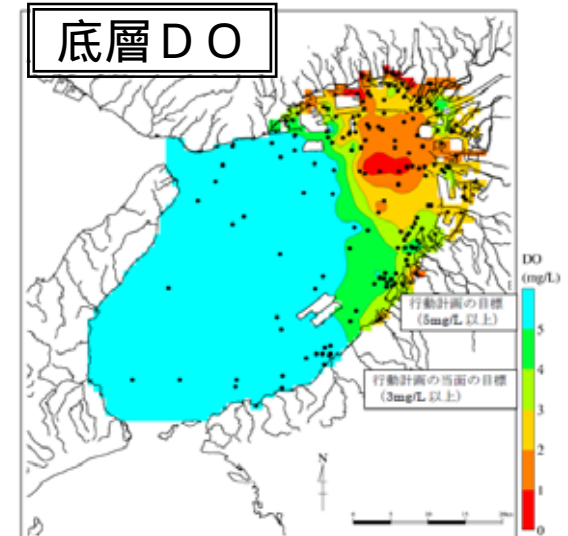
大阪湾再生のためのモニタリング …モニタリングG

環境の監視

・大阪湾再生水質一斉調査の継続[大阪湾再生推進会議、大学、民間企業等]



平成23年度 大阪湾再生水質一斉調査
調査地点



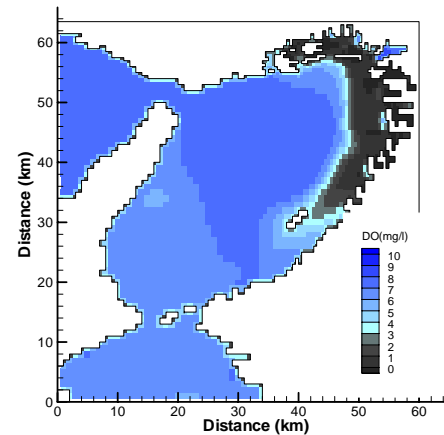
平成23年度 大阪湾再生水質一斉調査
調査結果(底層DO)

汚濁機構解明

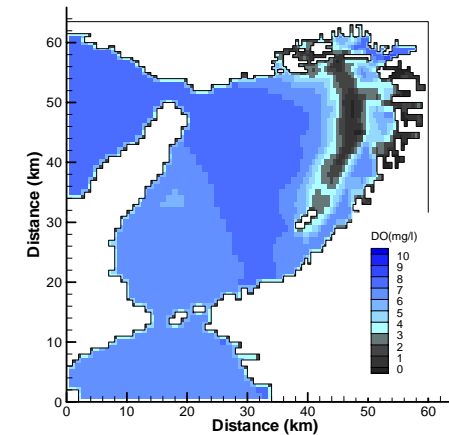
・「流動・水質シミュレーションモデル」の実用化に向けての検討[神戸港湾空港技術調査事務所]

【水質再現計算結果例】

風況変化に伴う貧酸素水塊の挙動(下層DO平面図(計算値))



2010/7/11 12:00



2010/7/12 18:00

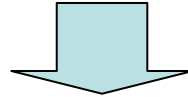
「流動・水質シミュレーションモデル」の実用化による解析例

大阪湾再生行動計画

～ 次年度に向けての課題と対応方針 ～

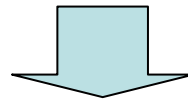
現状からの課題

年による変動は見られるものの、夏季平均値の底層DO及び表層CODは、ほぼ横ばいに推移している。



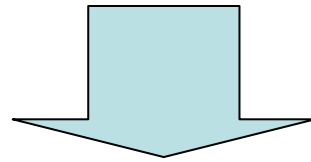
目標値は、依然として達成できていない

一方で、底層DOをこれまでの夏季平均値ではなく、**年間最低値**で推移を比較して見ると、A類型海域では行動計画前に比べ、底層DOの最低値が湾奥に向かって改善され、底生生物も**種類数の増加**傾向がみられる。



継続的な取り組みが必要

湾口部の底層は改善傾向にあるが、
湾奥部が改善されない



さらに、行動計画を推進していくには

これまでの取組効果を、より多角的な視点・観点
からの評価が必要

湾奥部の水質の課題に対して、行動計画を推進する
ための効果的かつ着実な事業の継続及び拡充の検討
が必要

NPO等の取り組みをさらに推進するための支援

今後の行動計画の対応方針



効果的かつ着実な事業の継続及び拡充の検討
(窪地修復・藻場・干潟・浅場の整備)

行動計画内の効果をアピールしつつ、シンポジウム
(海の再生全国会議等)・見学会・ワークショップ・特
別展等をNPO、企業、学識、行政との協働で実施。
大阪湾Year2012-2013と称し、次期行動へ繋ぐ連
携を強化

現計画の最終的な評価方法について検討
学識者を交えた検討会の設置

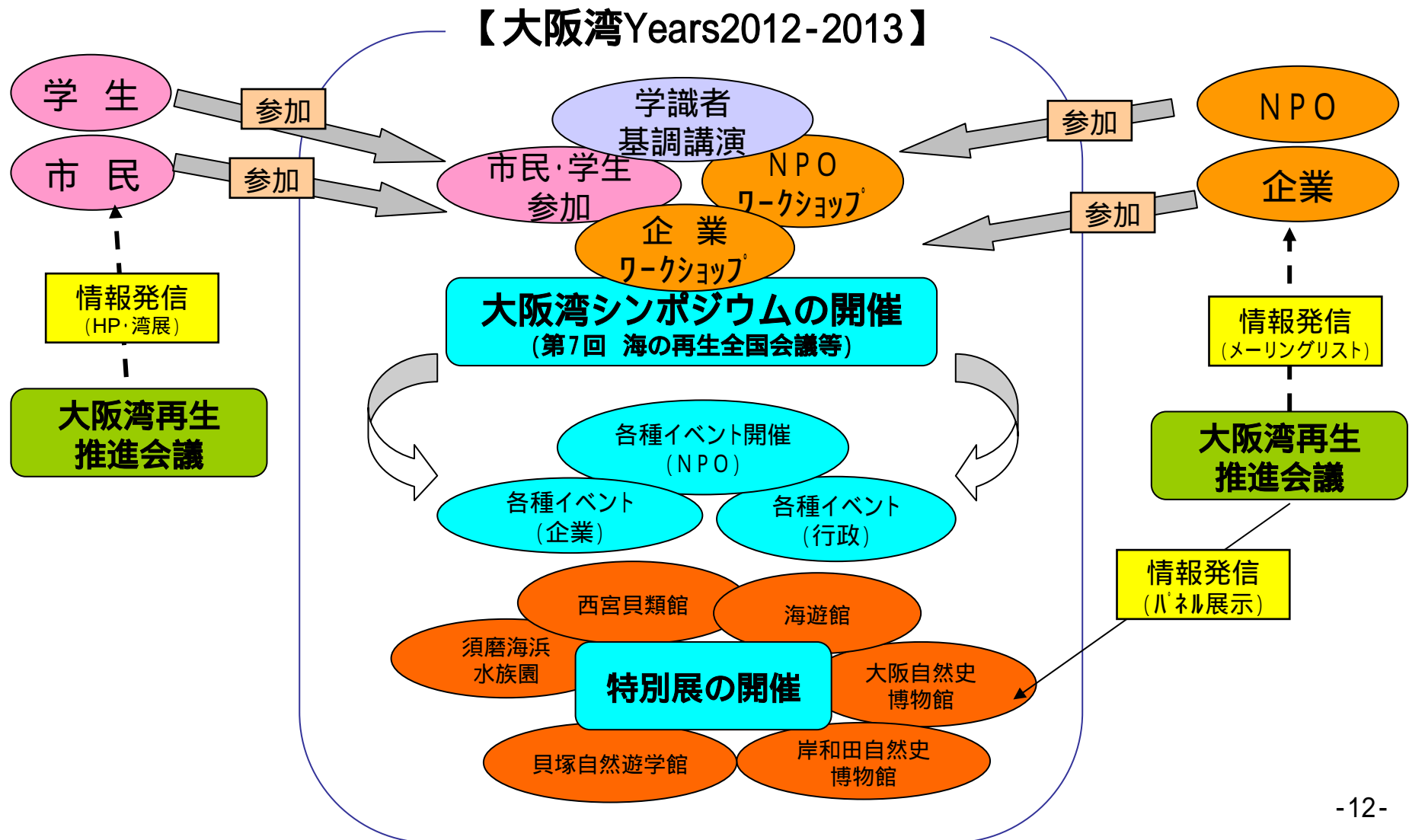
多様な主体の連携による取り組み
企業とNPO等を繋ぐ仕組みづくりへの支援
(経産局をはじめ各構成機関からの情報発信、
企業ニーズの把握)

< 大阪湾Years2012-2013について >

大阪湾Years2012-2013とは

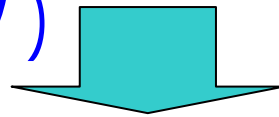
行動計画終了年度にあたる平成25年度及びその前年度の平成24年度の2ヶ年において、NPO、学識者、研究機関、水族館・博物館及び大阪湾再生推進会議の協働により、大阪湾の生き物や水質について、シンポジウム、基調講演、ワークショップを通じて、学及び民による行動計画の評価をおこない、改善の兆しが見え始めた大阪湾環境の更なる改善行動へ繋げていくもの

大阪湾Years2012-2013イメージ図

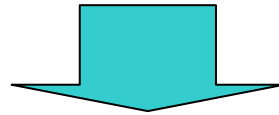


広域的な参加

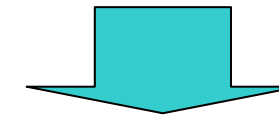
各構成機関のイベント、プロジェクトに大阪湾
Years2012-2013の冠を掲げ、接着・連携強化
を図る(ロゴマーク)



イベントカレンダーを作成



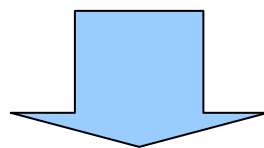
企業・NPO・市民団体へメールリングリストで配信



シンポジウム、基調講演、ワークショップでよ
り多くの参加者に評価を頂く

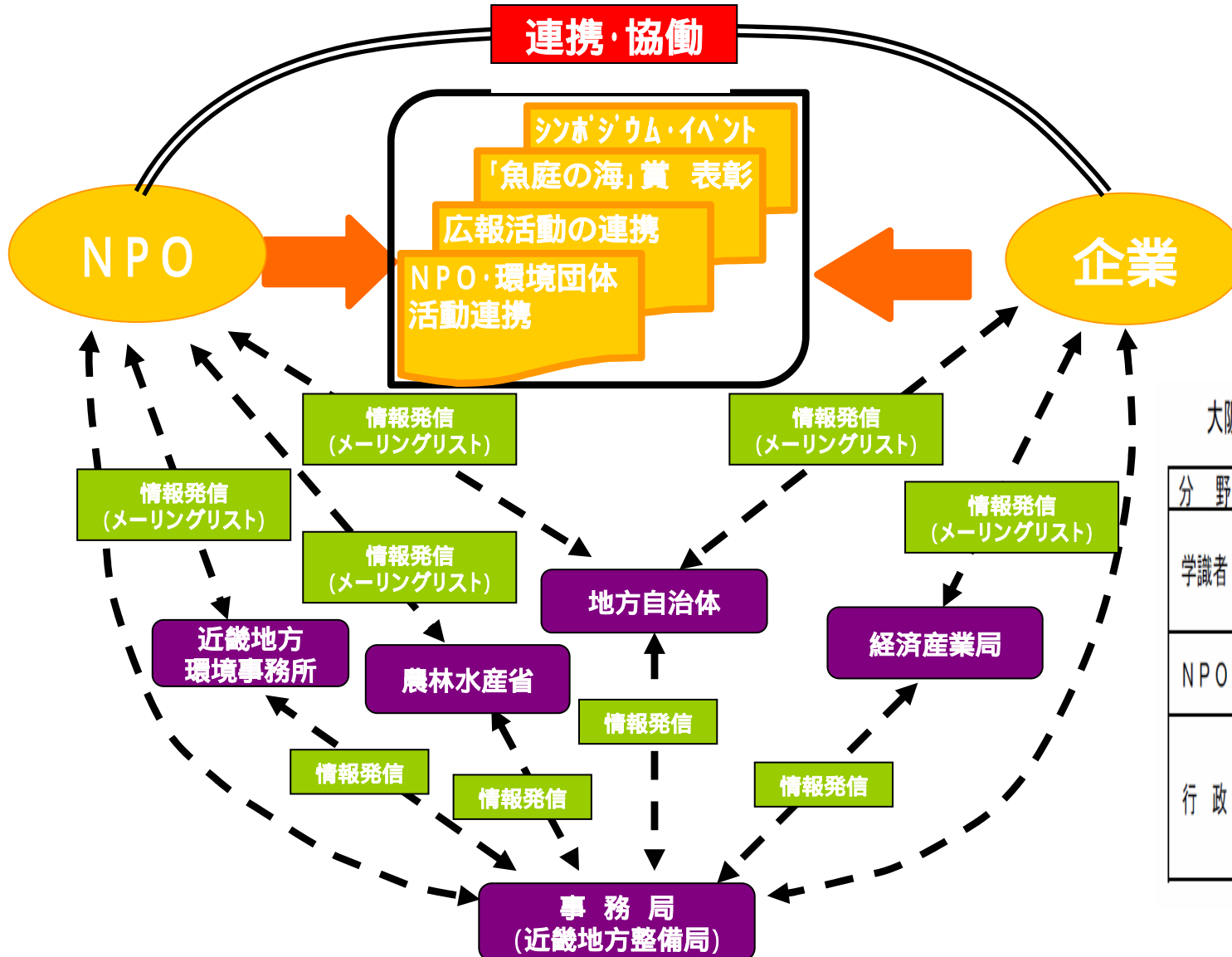
大阪湾再生に関する既設イベントや学習会等に「大阪湾Years2012-2013」の冠を入れてPR

各構成機関で実施される既設イベントを包括して、「大阪湾Years2012-2013」とすることで、大阪湾に関するイベント・学習会等へ**1人でも多くの方に参加していただき**、市民活動を盛り上げていただき、**多くの意見(行動計画の評価)を頂く**ことを狙いとしております。



大阪湾Years2012-2013のイベントカレンダーを周知していただけるようPRしていただきたい

NPO・市民団体と企業を結ぶ 情報共有のネットワーク化の実施



大阪湾 Years CG(コアグループ)会議

分野	所属
学識者	大阪市立大学 教授
	大阪市立自然史博物館 館長
	大阪府立大学 教授
NPO	大阪湾見守りネット 代表
	NPO法人人と自然とまちづくりと副代表理事
行政	大阪府 水産技術センター長
	大阪府環境保全課 課長補佐
	近畿地方整備局 神戸技調 調査課長
	近畿地方整備局企画部 技術企画官

<参考> 大阪湾再生推進会議 構成機関 情報ネットワーク一覧

事務局：近畿地方整備局企画部広域計画課

構成機関名	担当部署・連絡先	配信方法	配信対象	メーリングリストの有無
近畿経済産業局	地域経済部地域開発室	メーリングリストにより、各自治体・産業支援機構・商工会議所を通じて一斉配信	大企業・中堅企業・中小企業	有
近畿地方環境事務所	きんき環境館	メーリングリストにより、パートナーシップに登録している団体へ配信	2010年：55団体	有
近畿中国森林管理局	企画調整室	森林・林業の普及に関するネットワークでホームページでイベント情報等を掲載して情報発信	NPO24団体	無
近畿農政局	現在検討中			
大阪府	都市整備部事業管理室	笑働ネットワーク(仮称)でメーリングリストから一斉送信	企業、学校、各種団体、計約160団体	有
		地域協働いきいきネット大阪へ郵送及びメールで配信 笑働ブログ、facebook	地域活動団体約50団体	一部有
	大阪府環境農林水産部水産課	なんてござる 大阪府庁職員ブログ	一般府民、NPO、企業など	無
大阪市	環境局	環境局から大阪市の全24区役所の市民協働課に情報を送付し、各区の市民協働課から関係団体に情報伝達する。	河川的环境保全に取り組む地域の関係団体(河川愛護会、NPOなど)	無
神戸市	環境局環境創造部地球環境課	神戸市市民の水辺連絡会から情報発信 TEL:078-322-6678, FAX:078-322-6068へ電子メール及びFAX	一般市民	無
滋賀県	総合政策部企画調整課広域連携推進室	淡海ネットワークセンター(公益財団法人淡海文化振興財団:NPO、市民活動の支援)の情報BOXへの投函	NPO、市民活動団体 約150団体	有 (有料)
		琵琶湖流域ネットワーク委員会の各圏域の事務局となる県の出先機関から配布	ネットワーク委員会構成員(17団体9個人)および、それらの団体の関係団体(数は捕捉していない)	有
		各関係経済団体(6団体)を通じた配布	各団体の会員企業	有
奈良県	地域政策課 河川課・下水道課 文化教育課 共同推進課	・大和川清流復活ネットワークのメーリングリストにより配信 ・HPでの紹介 文化・教育課HP「まほろば地域作りネット」 協働推進課HP「奈良ボランティアネット」に掲載可。	NPO及び企業	大和川は、メーリングリスト有・ その他は一部有
兵庫県	兵庫県農政環境部 環境管理局 水大気課	水大気課が事務局である「兵庫県瀬戸内海環境保全連絡会」の会員のうち、メールアドレスが登録されている会員への一斉配信	会員(企業及び行政等)	有

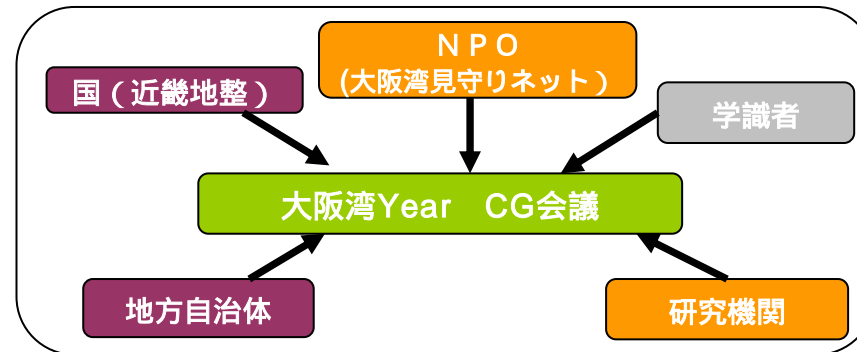
学術的な評価 NPO・企業を繋ぐ場の提供

➤ 協力体制

学会 (土木学会・水産学会等) 及び **企業**

(シャープ・大阪ガス・パナソニック・関電・シマノ・漁連・フェニックス等) へ協力依頼中

スケジュール



【H24年度】 キックオフイベント（プレイヤー）

- 5月～6月頃 ・生態系工学研究所と大阪湾セミナージョイント開催
- 10月～12月頃 ・生態系工学研究所と大阪市立自然史博物館合同
環境学習イベント開催
- ・学識者の基調講演、ワークショップ
- ・大阪湾シンポジウムの開催

第7回 海の再生全国大会

関西での開催の誘致の働きかけ

【H25年度】 特別展の開催（行動計画最終年）

大阪市立自然史博物館、須磨海浜水族館、海遊館、岸和田自然史博物館、西宮貝類館、貝塚自然遊学館とリレー式で開催。観察会等のイベントも開催

- ・各NPO・行政でのイベント開催
- ・大阪湾シンポジウム開催

< 大阪湾再生検討会の立ち上げ >

【要 旨】

大阪湾再生行動計画が来年度で9年目を迎え、**取組評価**と**今後の大阪湾再生へ向けての方向付け**を行うため、学識者を交えた再生へ向けての検討会を設置

【内容】

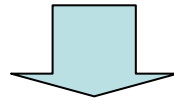
目標値として定めた**底層DO・表層CODの評価**について
多角的な視点・観点の評価を検討
取り組み体制やネットワーク作りについて

【今後の進め方】

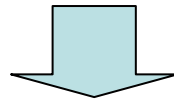
検討会構成メンバーを全体グループ会議の検討を経て決定

< 多様な主体の連携による取り組み >

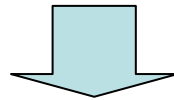
- N P O ・ 市民活動団体は高齢化（担い手不足）
- 企業は、人的支援は可能（C S R）



企業ニーズの把握（各自治体等から聞き取り）



企業とのヒアリング（インセンティブを把握）



N P O等の活動内容を企業へ**情報提供**
（経産局を始め、各構成機関のメーリングリスト等から）

魚庭の海賞発表会を**N P O及び企業を**
結ぶ連携の場として活用